

製品名: カスパーゼ-6 (13P13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07974**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:500,IP 1:50-1:100
分子量	33kDa

抗原情報

遺伝子名	CASP6
別名	MCH2; CASP6; Caspase-6;
遺伝子 ID	839.0
SwissProt ID	P55212
免疫原	ヒトカスパーゼ6の合成ペプチド

背景

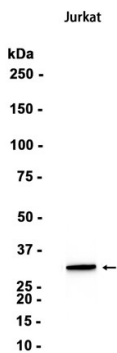
カスパーゼ6 (Mch2) は、細胞のアポトーシス過程において機能する主要な死刑執行カスパーゼの一つです。アポトーシス刺激を受

けると、カスパーゼ 9 などの開始カスパーゼが切断され活性化されます。活性化された上流カスパーゼは、カスパーゼ 3 やカスパーゼ 6 などの下流死刑執行カスパーゼを大小のサブユニットに切断することでさらに処理し、アポトーシスに至るカスパーゼカスケードを開始します。カスパーゼ 6 の主要な標的の一つは、膜結合タンパク質であるラミン A です。このシステインプロテアーゼは、プログラム細胞死、軸索変性、発達、そして自然免疫において重要な役割を担っています (PubMed:8663580、PubMed:32298652)。アポトーシスの過程で核に局在し、核構造タンパク質 NUMA1 およびラミン A/LMNA を切断することで、核の収縮と断片化を誘導する (PubMed:17401638、PubMed:8663580、PubMed:9463409)。さらに、NF- κ B や cAMP 応答配列結合タンパク質 /CREBBP などの多くの転写因子も切断する (PubMed:10559921、PubMed:14657026)。リン脂質スクランブラーゼタンパク質 XKR4 および XKR9 を切断する (類似性による)。軸索剪定 (神経発生中の軸索のリモデリング) における軸索変性において重要な役割を果たし、アポトーシスには関与しない (類似性による)。初期発生および抗原刺激後の両方で B 細胞プログラムを制御する (類似性による)。さらに、ZBP1 を介したピロプトーシス、アポトーシス、ネクロプトーシス (PANoptosis) を含むプログラム細胞死経路の活性化を促進し、ウイルスに対する防御において重要な役割を果たします (PubMed:32298652)。そのメカニズムとしては、RIPK3 と相互作用し、RIPK3 と ZBP1 の相互作用を増強することで、ZBP1 を介したインフラマソームの活性化と細胞死を引き起こします (PubMed:32298652)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



RM4582 を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。